

県下の交通事故

(平成11年11月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成10年		5,736件	88人	7,684人
平成11年		5,791件	73人	7,698人
比較		+55件	-15人	+14人



◇ 第130号 ◇
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11
 〒400-0031 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL (055) 232-4682



中央道 事故の凄まじい惨劇

年末年始の交通事故防止県民運動

12月10日(金)から
 1月10日(月)まで

運動の重点

- 一 飲酒運転の絶滅
- 二 若者と高齢者の交通事故防止
- 三 シートベルト着用の徹底とチャイルドシート着用促進
- 四 暴走族の追放

この運動は、年末年始の交通が混雑し、あわただしさも加わり、また、忘新年会などで飲酒の機会も多くなるなど、毎年交通事故が多発しますので、県交通安全対策本部・県交通安全推進協議会が主催し、県、警察、市町村、交通安全協会等関係機関・団体が中心となり、本県独自の運動として行うものです。

の調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

道路交通法の改正で、六歳未満の幼児へのチャイルドシート着用が、来年四月一日から、一部除外規定を除き義務化されます。ある実験では、助手席の母親の膝に子供を乗せ、車を時速三〇キロ以上で走行中急ブレーキをかけると支えきれず、ダッシュボードに顔面を打ちつけるそうです。

自動車乗車中交通事故で死傷した六歳未満の幼児は、平成六年は六、二六七人ですが十年には五二%も急増しており、またチャイルドシートを着用していた場合の致死率は、着用しない場合の致死率の四分の一と高い効果があります。

オーストラリアなどでは、相当前から使用が義務化され、日本もようやく追いついた状態ですが、現在県内でも、チャイルドシートの着用を促進するため、各地区安協や市町村等で無料貸出しや購入補助金の交付等が実施されています。

チャイルドシートは、子供の体型にあった乳児用、幼児用、学童用の三種があるので、車に合うものを買入れ、さらに取り付け方でも「二点ベルト固定式」と「三点ベルト固定式」などの方法を選択し、座席に確実に固定するため取り付けに習熟することが必要です。

無力で危険がわからず、また将来の日本を背負う宝である子供の命を守るの責任は大人ですので、親の都合ではなく、子供本位で考えましょう。

みんな笑顔でお正月

全国の交通事故による死者は、十一月十五日現在、七千六百四十五人で昨年同期より百十四人減少しており、特に警察では本年の死者数を九千人以下に抑えたいと頑張っています。

●若者と高齢者の死亡事故
 十月末現在、若者の死亡が十五人、高齢者二十一人であり、両者を合わせると三十六人で、全死者に占める割合は五〇%と高率になっていますので注意しましょう。

●暴走族の追放
 深夜、爆音を立てて街を走り回る若者に対し、暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」を目標に地域ぐるみで暴走族の追放を図りましょう。

●飲酒運転の絶滅
 飲酒運転の事故は十月末現在で二百五件発生し、死者は十二人で、全体の一八・五%となっています。微量の飲酒でも死亡事故等につながりますので「飲んだら乗るな、乗

りも増加しているため、今年県内で発生している交通事故の状況を分析し、この運動の重点目標を決めたものです。

●シートベルト着用の徹底とチャイルドシート着用促進
 今年の日本自動車連盟

このような夜間の歩行者の事故防止を図るため、免許の更新講習や処分者講習等の機会をとらえて、また自動車教習所等を通じてその徹底を図っているところであるが、まだまだ十分とはいえないのが現状である。そのため各地域で活躍している交通安全協会の皆様方の啓蒙啓発活動の中で「夜間のライト走行はハイビームが基本」の徹底を呼び掛けていただき、安全で快適な成熟した車社会の実現のために、なお一層のご努力がいただければ幸いです。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。



安全のために

●飲酒運転の絶滅
 飲酒運転の事故は十月末現在で二百五件発生し、死者は十二人で、全体の一八・五%となっています。微量の飲酒でも死亡事故等につながりますので「飲んだら乗るな、乗

●若者と高齢者の死亡事故
 十月末現在、若者の死亡が十五人、高齢者二十一人であり、両者を合わせると三十六人で、全死者に占める割合は五〇%と高率になっていますので注意しましょう。

●暴走族の追放
 深夜、爆音を立てて街を走り回る若者に対し、暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」を目標に地域ぐるみで暴走族の追放を図りましょう。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

●飲酒運転の絶滅
 飲酒運転の事故は十月末現在で二百五件発生し、死者は十二人で、全体の一八・五%となっています。微量の飲酒でも死亡事故等につながりますので「飲んだら乗るな、乗

●若者と高齢者の死亡事故
 十月末現在、若者の死亡が十五人、高齢者二十一人であり、両者を合わせると三十六人で、全死者に占める割合は五〇%と高率になっていますので注意しましょう。

●暴走族の追放
 深夜、爆音を立てて街を走り回る若者に対し、暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」を目標に地域ぐるみで暴走族の追放を図りましょう。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

●飲酒運転の絶滅
 飲酒運転の事故は十月末現在で二百五件発生し、死者は十二人で、全体の一八・五%となっています。微量の飲酒でも死亡事故等につながりますので「飲んだら乗るな、乗

●若者と高齢者の死亡事故
 十月末現在、若者の死亡が十五人、高齢者二十一人であり、両者を合わせると三十六人で、全死者に占める割合は五〇%と高率になっていますので注意しましょう。

●暴走族の追放
 深夜、爆音を立てて街を走り回る若者に対し、暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」を目標に地域ぐるみで暴走族の追放を図りましょう。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

ハイビーム走行を

ハイビーム走行を
 ハイビーム走行を

ハイビーム走行を
 ハイビーム走行を

ハイビーム走行を
 ハイビーム走行を

●飲酒運転の絶滅
 飲酒運転の事故は十月末現在で二百五件発生し、死者は十二人で、全体の一八・五%となっています。微量の飲酒でも死亡事故等につながりますので「飲んだら乗るな、乗

●若者と高齢者の死亡事故
 十月末現在、若者の死亡が十五人、高齢者二十一人であり、両者を合わせると三十六人で、全死者に占める割合は五〇%と高率になっていますので注意しましょう。

●暴走族の追放
 深夜、爆音を立てて街を走り回る若者に対し、暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」を目標に地域ぐるみで暴走族の追放を図りましょう。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

この調査によると、残念ですが、本県が、最下位となっていました。シートベルトはドライバーの心がまえ次第ですの、必ず締め忘れのないようにしましょう。また来年四月よりチャイルドシート着用が義務化されますので子供のために準備をお願いします。

第四十一回山梨県中学生交通安全弁論大会

近藤美香さん(中富中)が優勝

地区代表十七人が熱弁

県警察本部と県交通安全協会の主催による第四十一回山梨県中学生交通安全弁論大会が、十月六

日甲府市内のニュー機山で開催されました。大会には、県下各地区の予選大会で優勝し、地



熱弁を振るう地区代表

区代表となつた十七人が持ち時間七分で自らの体験等を通じて交通安全の大切さを訴えました。審査の結果「あなた

〔準優勝〕
山梨県議会議長賞
吉田中三年
荒井奈津子

山梨県警察本部長賞
西桂中三年
椿山智恵子

山梨県教育長賞
駿台甲府中二年
山本真希子

〔特別賞〕
菲崎東中三年
上野 亮祐

〔優秀賞〕以下出場順
内藤大貴(浅川中) 中
村大介(山梨北中) 葉袋
ゆい(勝沼中) 須田真介
(泉中) 長田朋子(桐原
中) 井上聡(大月東中)
秋山彩(甲西中) 渡邊苗
(古関中) 永田彩(南西
中) 河村暢子(猿橋中)
鍋田唯(万沢中) 志村芽
衣(富竹中)

安協だより

当協会は、県東部郡内地方に位置する都留市、西桂町、道志村、秋山村の一市一町二村を管轄する交通安全協会です。

住民に信頼される活動

都留安協会長 三枝 時彦



所改善運動やカーブミ

ほとんどで、道路状況を知らないがための速度の出し過ぎによる事故が多くなつてきています。

また、車両の通行量増加による交通渋滞も地元住民には大きな迷惑となつているところです。

今年の交通安全教育としましては、全人口対象の交通安全ビデオを製作し

管内の人口は、約四万七千人程度ですが、都留市や西桂町を走る国道一三九号と道志村を走る国道四一三号における車両等の通行量が近年増加している現状

にあり、それに伴い交通事故が増加しています。これらの車両は、富士五湖観光目的の通過車両が

人が死亡しております。今年には都留警察署から協力を得て、各種体験型の交通安全教室を年齢別に分けて実施するな

交通安全教室の開催や都留市の八潮祭りにおける大名行列パレードへの交通安全キャンペーンの参加等を積極的に行い、人身事故および死亡事故の件数は大幅に減少しました。

また、道路交通法の改

「シートベルト着用率で全国トップの香川県の九〇・六%と比べると、実に三〇%も低く、全国平均七八・五%も大きく下回って、全国二番目に低いという結果です。

また、助手席のシートベルト着用率にいたっては、二六・四%と全国最下位という結果でした。

全国最低の二六%と聞いて、皆さんはどんな事

を感じたのでしょうか? 山梨県民として、恥ずかしい思いを感じること

でしょうか? 「命を守る」とする心が甘く、自分

とさや温かさのある県民性。山梨県はすばらしい県だと思えます。

しかし、こんなにすばらしいと思つている山梨県なのに、全国最低の交通安全意識の低さでいい

でしょうか? 「命を守る」とする心が甘く、自分ひとりの交通安全意識の低さ

を改めて感じたのです。大丈夫という過信「せ

自動車の連盟では、一九九一年から毎年一回全国で調査をしてい

山梨県でも甲府市の中小河原交差点と、アル

プス通りの二カ所で、千台の車の運転手と助手席

のシートベルトの着用を調査したのです。

調査結果は、とても残念な結果でした。運転手の着用率は、六〇・九%

富士山や南アルプスなどの自然も豊か、美術館や文学館など文化の香りも

高い山梨。そして、優しい山梨。そして、優しい山梨。

あなた

あなた

あなたはシートベルトを締めていますか



中富町立中富中学校 近藤 美香

シートベルトを締めていますか

シートベルトを締めていますか

シートベルトを締めていますか

やさしい指導 安い費用 スピード取得

★各車種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

財団法人 山梨自動車学校 中巨摩郡八田村野牛島1828 (運転免許センター内) TEL (055) 285-0752



事故は瞬間 ベルトは習慣

お知らせ

八田村の山梨県交通安全学校、都留分校で運転免許の更新を予定されている方は、年内は十二月二十八日(火)まで、新年は一月四日(火)からですが、特に年始は大混雑しますので年末のうちに手続きをすることを奨めます。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険を任意の自動車保険をつけましょう。

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店 甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL (055) 228-0691



秋の全国交通安全運動

各地で多彩な催し

秋の全国交通安全運動等四点を運動の重点とし、九月二十一日から九月三十日までの十日間、高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用、チャイルドシートの着用促進、県独自として飲酒運転の絶滅、交差点カーブにおける事故防止

しかし、期間中の県内事故発生状況は、事故件数百五十九件（前年比二十八件増）、負傷者数二百十八人（前年比五十二人増）、死者数五人（前年同数）という残念な結果に終わりました。期間中の各安協の活動を一部を紹介します。



高齢者の夜間安全教室（南甲府）



高齢者交通安全教室（甲府）



天野知事によるチャイルドシート装着（県交対協）



グレースポール会場で交通安全講話（長坂）



女子プロレス神取忍さんが交通安全宣言（葦崎）



婦人部で作成した鬼面瓦お守り（小笠原）



中学生の自転車教室（市川）



僧侶による交通安全祈願（南部）



小学生への街頭指導（鍼沢）



安全運動出発式（塩山）



チャイルドシート着用指導員委嘱式（日下部）



黄色い羽根等配布（石和）



チャイルドシート着用指導員委嘱式（上野原）



安協婦人部による街頭指導（大月）



「レディースフェスティバル」チャイルドシート実技講習会（富士吉田）



チャイルドシート実技講習会（都留）

地区支部活動

シートベルト・チャイルドシート体験教室

小笠原交通安全協会八田支部（斉藤秀男支部長）は、小笠原警察署等と連携のもとにシートベルト教室を、十月十日、八田村民体育祭の場を利用して八田中学校において開きました。

体験教室には、シートベルトコンビンサーやオープンカーによるチャイルドシート着用体験などを行いました。

チャレンジ〇〇表彰式

大月安協

大月交通安全協会（山下道男会長）は大月警察署等と連携して、秋の交通安全運動最終日に大月警察署において「三世代セーフティチャレンジ〇〇」の表彰式を開催しました。

このチャレンジ〇〇は、春の全国交通安全運動初日の五月十一日にスタートをし、七十三チーム二百十九人が参加、内六十六チーム二百十人が無事故・無違反を達成しました。

表彰式には、各チームから代表者が出席し、表彰状や記念品を受け取るなどにも、盛大に抽選会も行われました。

出席者は、チャレンジ〇〇が終わったから安

反射材着用宣言大会

市川安協大同支部

市川交通安全協会大同支部（一瀬貞仁支部長）は、地区四百二十戸の全戸に反射材タスキを配分するとともに、秋の全国交通安全運動の初日の二



シートベルト体験教室

もあり大勢の村民が会場に訪れており、うち約二百五十名の方が体験学習を行い、昼休みには、子供達が交通安全の願いを込めてメッセージを付けた風船約百個を空高く上げました。

体験者はベルトの必要性を口々に認めて、来年もこのような企画をしてほしいと大好評でした。



下部町交通安全宣言大会

下部町で安全宣言

市川安協

市川管内の下部町（土橋金六町長）が主催し、市川安協（八木吉治会長）等協賛のもとに、九月十八日、下部町開発センターに、同町民約百二十名が集まり、「下部町交通安全宣言大会」を開催しました。

三十年間毎月定例会

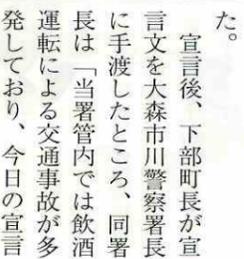
塩山安協勝沼支部

塩山交通安全協会勝沼支部（岩間正典支部長、支部役員二十二名）は、三十年前から、毎月八日に勝沼町内に定例会を開催しています。



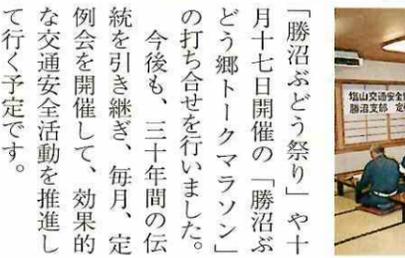
三十年間毎月定例会

定例会には、各種行事の打ち合せ、活動方針、最近の交通情勢や交通事故の発生状況の協議や新入役員への街頭指導要領の教育を行っています。



「勝沼ぶどう祭り」や十月十七日開催の「勝沼ぶどう郷トークマラソン」の打ち合せを行いました。

「勝沼ぶどう祭り」や十月十七日開催の「勝沼ぶどう郷トークマラソン」の打ち合せを行いました。今後も、三十年間の伝統を引き継ぎ、毎月、定例会を開催して、効果的な交通安全活動を推進して行く予定です。



「勝沼ぶどう祭り」や十月十七日開催の「勝沼ぶどう郷トークマラソン」の打ち合せを行いました。